



# 地震対策

▶ 地震発生! そんなときどうする?!

風水害 & 土砂災害

地震

避難行動 & 備え

風水害 & 土砂災害

地震

避難行動 & 備え

## 地震発生時の時間経過行動マニュアル

地震発生	<p><b>! 緊急地震速報を見聞きしたり、強い揺れを感じたら…</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大きな家具や窓ガラス、ブロック塀や崖などから離れ、身の安全を図る</li> <li>● 強い揺れが続いている間は、自分の身を守ることを最優先する</li> </ul>
2~5分	<p><b>! 揺れがおさまったら…</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 火の確認 ガスの元栓、電気のブレーカー 火が出たら、落ち着いて初期消火</li> <li>● 家族・災害弱者の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認</li> <li>● 靴を履く 家の中はガラスの破片が散乱 靴や厚手のスリッパを履く</li> <li>● 周りの状況をよく確認して、より安全な場所に避難</li> <li>● 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機などに注意</li> </ul>
5~10分	<p><b>! みんなの無事を確認→火災の発生を防ぐ</b></p> <p>隣近所に声をかけよう ● 災害弱者の安全を確認 隣近所で助け合う ● 行方不明者はいないか ● ケガ人はいないか</p> <p>出火防止 初期消火 ● 初期消火 ● 消火器を使う ● バケツリレー 風呂の水は、溜め置きをしておく ● 余震に注意</p> <p>● 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ● 余震に注意</p>
10分~半日	<p><b>! 正しい情報を得る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大声で知らせる ● 防災機関、自主防災組織の情報を確認</li> <li>● デマに惑わされないように ● 避難時に自動車は極力使用しない</li> <li>● 電話は緊急連絡を優先する</li> </ul>
半日~3日	<p><b>! 協力して消火活動、救出・救護活動を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水や食料は蓄えているものでまかなう 3日間分の飲料水と食料の備蓄をしておく</li> <li>● 災害・被害情報の収集 ● 無理はやめよう ● 救出や救護を ● 助け合いの心が大切</li> <li>● 気になっても壊れた家に戻らない、入らない</li> </ul>

## 木造住宅の耐震化をしておきましょう

老朽化した木造住宅、特に旧耐震基準である1981年(昭和56年)5月31日以前に建築、または建築に着手した木造住宅は、地震による倒壊の危険性が高く、早期に住宅の耐震化を図る必要があります。

津和野町では、木造住宅の耐震化を促進することを目的に、耐震診断または耐震改修に要する費用を助成しています。詳しくは、役場建設課(TEL:0856-74-0081)までお問い合わせください。

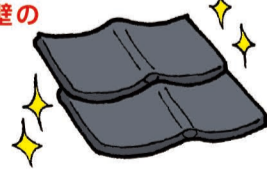
### ■ひと部屋だけ耐震化

家全体の耐震補強が困難な場合、ひと部屋だけでも補強して安全な空間を作れば、いざというときに逃げ込む場所になります。



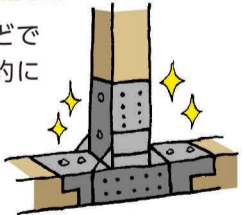
### ■屋根の軽量化

瓦をスレートや鉄板などの軽い材料に替えることで柱や壁の負担が軽減され、耐震性の向上につながります。



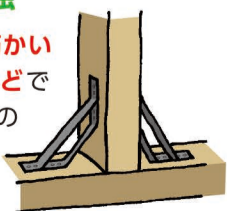
### ■腐朽部分の補強

老朽化や白蟻被害などで劣化した部材を部分的に取り替え、接合部をプレートなどで補強します。



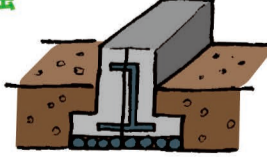
### ■接合部の補強

火打金物、制震金物、筋かいプレート、山形金物などで補強することで、地震の揺れによるひずみに耐えることができます。



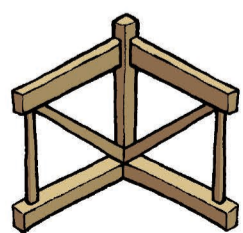
### ■基礎の補強

耐震性に乏しい無筋コンクリートに、新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせることで土台を補強します。



### ■壁の補強

想定される地震力に抵抗できる耐力壁の量を増やしたり、バランスよく配置することで強度が増します。壁に筋かいを入れるのも有効です。



## 地震による火災発生! 初期消火の3原則

一人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、速やかに119番通報を! 初期消火で火を消せない場合は、すばやく避難しましょう。

1	2	3
早く知らせる	早く消火する	早く逃げる
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「火事だ!」と大声を出して隣近所に助けを求め。声が出なければ、やかなどを叩き異変を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出火から3分以内が、消火できる限度。</li> <li>● 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で叩いたり、毛布で覆うなど手近なものを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。</li> <li>● 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。</li> </ul>
火元別初期消火のコツ		
油なべ	電気製品	
慌てて水をかけるのは厳禁! 消火器がなければ濡れたタオルやシーツを手前から掛け、空気を遮断して消火。	いきなり水をかけると感電の危険が。まず電源コードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。	
石油ストーブ	風呂場	
真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと灯油が飛び散って危険)灯油が流れてひろがっていくようなら毛布などで多い、その上から水をかけて消火。	出火に気がついても、いきなりドアを開くのは禁物。空気が室内に供給されて火の勢いが強まる危険がある。ガスの元栓を閉め、徐々にドアを開けて一気に消火を。	
カーテン・ふすま	衣類	
カーテンやふすまの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はありません。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、そのうえで消火を。	着衣に火がついたら転げ回って消すのも方法の一つ。髪の毛の場合は衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。	

## 消火器の使い方

※粉末・強化液消火器の場合 ※家庭用消火器は射程距離が3~5m、噴射時間は10~15秒

**手順1** 黄色の安全栓(ピン)を上引き抜く

**手順2** ホースをはずして火元に向ける。

**手順3** レバーを強く握って噴射する。

### 消火器の構え方



- 風上に向かって消す。火災にはまともに対向しない。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く、熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙に惑わされずに、燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

## まずは 火災予防が大切!

### 火災報知機の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災報知機の設置が義務付けられています。

#### 火災報知機の設置場所

- 寝室……すべての寝室への設置が必要です。
- 階段……寝室の部屋の階段天井などへの設置が必要です。
- 台所……台所への設置も必要です。

